

平成 24 年 度

事業 報告 書

公益財団法人 千葉市保健医療事業団

平成24年度事業概要

第1 事業活動の概要

地域住民の健康増進と地域医療の発展への寄与を基本目標に、千葉市の施策と市民ニーズを踏まえ、看護師養成事業、健康づくり推進事業等の自主事業を展開するとともに、千葉市から救急医療確保対策事業、総合保健医療センター施設の管理事業を受託・実施した。

また、千葉市休日救急診療所の指定管理者として市民サービスの向上・経営の効率化を推し進めた。

第2 事業内容

1 公益目的事業

(1) 千葉市休日救急診療所管理運営事業（指定管理事業）

千葉市医師会、千葉市歯科医師会、千葉市薬剤師会の協力のもと、救急患者を対象に、日曜日、祝日及び年末年始の昼間における初期診療を実施した。

また、ねたきり老人・心身障害者（児）の歯科診療を、原則として毎週木曜日に予約制により実施したほか、災害時における医薬品等の備蓄事業を実施した。

ア 休日救急診療実績

(ア) 診療科目別患者状況（診療日数 72日）

（単位：人）

区 分	内科	小児科	外科	整形 外科	眼科	耳 鼻 いんこう科	歯科	合計	処方せん 枚 数
患者総数	7,621	7,563	1,891	3,070	1,479	3,041	960	25,625	20,893枚
1日平均	105.8	105.0	26.3	42.6	20.5	42.2	13.3	355.9	290.1枚
割合(%)	29.7	29.5	7.4	12.0	5.8	11.9	3.7	100.0	

(イ) 居住地別患者状況

（単位：人）

区 分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑 区	美浜区	市 外	合 計
患者総数	5,690	3,110	3,910	3,119	2,047	4,587	3,162	25,625
1日平均	79.0	43.2	54.3	43.3	28.4	63.7	43.9	355.9
割合(%)	22.2	12.1	15.3	12.2	8.0	17.9	12.3	100.0

イ ねたきり老人・心身障害者（児）歯科診療実績

(ア) 対象別患者状況（診療日数 43日）

（単位：人）

区 分	ねたきり老人			心身障害者（児）			合 計
	男	女	計	男	女	計	
患者総数	123	85	208	371	94	465	673
1日平均	2.9	2.0	4.9	8.6	2.2	10.8	15.7

(イ) 居住地別患者状況

(単位：人)

区 分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑 区	美浜区	合 計
ねたきり老人	27	38	35	43	12	53	208
心身障害者（児）	99	79	37	111	90	49	465
計	126	117	72	154	102	102	673
割 合（％）	18.7	17.3	10.7	22.9	15.2	15.2	100.0

ウ 休日救急診療及び寝たきり老人・心身障害者（児） 歯科診療に伴う調剤業務を実施した。

エ 災害時医薬品等備蓄事業

千葉市地域防災計画に基づき、災害発生時における迅速かつ円滑な医療救護活動が可能となるよう、地域の一拠点として医薬品・診療材料等の備蓄管理を行った。

(2) 救急医療確保対策事業（受託事業）

千葉市からの受託により、休日や夜間の救急患者に対応するための医療機関の確保及び在宅による産婦人科当番医制の実施とテレホンサービスによる診療案内を行った。

ア 産婦人科在宅当番医制

市内の産婦人科 35 医療機関の輪番により、72 日間の診療日数を確保した。

（受診患者数 239人、1日当たり 3.3人）実施した。

イ テレホンサービス

区 分	電話番号	案内日数	案内総件数	1日平均件数
千葉市休日救急診療所	(244)5353	72	10,098	140.2
産婦人科休日緊急当番医	(244)0202	72	642	8.9
夜間外科系当番医療機関	(244)8080	366	6,226	17.0

ウ 二次救急医療機関確保（病院群輪番制）

市内の病院の協力を得て、休日等及び毎夜間の二次医療機関を確保した。

(単位：施設)

区 分		内 科	小児科	外 科	整形外科	産婦人科	産 科
休日の二次救急医療機関	協力病院数	19	6	12	8	3	－
	待機病院数	2	2	1	1	1	－
夜間の二次救急医療機関	協力病院数	17	6	－	－	－	3
	待機病院数	2	1	－	－	－	1

エ 年末年始初期診療医療機関確保

11施設の協力を得て、年末年始における内科・小児科の急病患者に対する初期診療の充実を図った。

オ 夜間外科系救急医療機関確保

夜間の急なケガや病気などの患者に対応するため、夜間外科系救急医療体制を整備した。

市内の19医療機関の輪番により、毎夜間・1医療機関が午後6時から翌朝午前6時まで診療に当たっている。また、処置困難な患者等の受入については、両市立病院をはじめ後方支援の確保を図り対応している。（受診患者数 12,057人）

患者数実績

(単位：人、日)

区 分	初期医療機関	後方支援病院 (両市立病院)	非当番協力 医療機関	三次医療機関	合 計
患 者 数	7,251	924	3,358	524	12,057
待機日数	366	260	366	366	—
1日平均	19.9	2.2	9.2	1.4	—

※初期医療機関及び後方支援病院を同日に行ったときは、初期医療機関に含む。

(3) 看護専門学校事業（自主事業）

平成25年3月に第1看護学科及び第2看護学科併せて70人が卒業。

第102回看護師国家試験に卒業生70人が受験し、69名が合格した。

市内就職率は第1看護学科が63.4%、第2看護学科が13.8%であった。

ア 卒業生数

学科名	入学時 学生数	単位未修得者		卒 業 生		
		退学者	留年者	現 役	留年者	合 計
第1看護学科	38人	2人	2人	34人	7人	41人
第2看護学科	38人	6人	3人	29人	0人	29人

イ 国家試験

第1看護学科			第2看護学科			全国平均	
受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	合格率	うち新卒者
41人	40人	97.6%	29人	29人	100%	88.8%	94.1%

ウ 進路状況

学科名	卒業 者		市 内		市 外		その他	県内計 (再掲)
			市立病院	他の医療 機関	県内	県外		
第1看護 学科	41人	人数	20人	6人	11人	1人	3人	37人
		割合	48.8%	14.6%	26.8%	2.4%	7.3%	90.2%
		人数	26人		12人			
		割合	63.4%		29.3%			
第2看護 学科	29人	人数	1人	3人	23人	2人	0人	27人
		割合	3.4%	10.3%	79.3%	6.9%	0.0%	93.1%
		人数	4人		25人			
		割合	13.8%		86.2%			

エ 入学試験

学 科		試 験 日	定員	応募者数	倍率	受験者数	倍率
第1看護 学科	推薦	平成24年10月20日	15人	41人	2.7倍	41人	2.7倍
	一般	平成25年 1月19日	25人	184人	7.4倍	167人	6.7倍
第2看護学科		平成25年 2月 2日	40人	76人	1.9倍	61人	1.5倍

(4) 健康づくり推進事業（自主事業）

健康づくりの推進・普及啓発として、また、千葉市の「健康づくり週間」の一環として、平成24年10月13日に、新世紀ちば健康プラン推進協議会、千葉市及び当事業団の共催により、「みんなで考えよう！お酒と健康」をテーマに健康フェアを行った。

ア 健康フェア

“きぼーる”において、健康づくりに関する各種相談や指導・展示を主とするイベントを開催した。

《参加団体》 25団体

《入場者数》 1,854人（延6,856人）

- 《内 容》
- ①健康相談 歯、薬、栄養、放射線、心の悩みや育児などの相談
 - ②病気の予防 禁煙指導、体脂肪測定、血圧測定、生活習慣病、血管年齢測定、健口体操、骨密度測定（事前予約）、アルコール症スクリーニングテスト、アルコール耐性パッチテスト
 - ③食生活 食生活に関する指導、パネル展示、お酒との上手な付き合い方、家庭内の食品衛生、包丁の基本技術指導、親子料理教室（事前予約）
 - ④健康増進 健康づくり大会ウォーク（事前予約）、自分でできるツボ刺激

(5) 救急医療知識の普及啓発事業（自主事業）

救急医療普及啓発用パンフレット（急病になったときのために）を作成し、千葉市各区消防署が9月に開催する救急フェアにおいて来場者に1,200部配布した。

(6) 訪問歯科診療事業（受託事業）

歯科診療の機会に恵まれない、ねたきり老人等の歯科診療を実施した。

予 診 者 数	訪問診療終了者数	協力医訪問延べ回数
※24人	7人	12回

※前年度繰越を含む

2 収益事業等

(1) 千葉県総合保健医療センター管理事業（受託事業）

千葉市から委託を受けて、保健所、環境保健研究所、環境情報センター及び休日救急診療所の複合施設である千葉県総合保健医療センターの施設管理を実施した。

本センターについては、建築後20年が経過し設備の老朽化が進んでいることから、予算の範囲内において、緊急性の高い不活性ガス消火設備並びに水中ポンプの一部等について修繕を行ったほか、館内に節電の呼びかけを行うなど、経費の削減に努めた。

附 属 明 細 書

平成24年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条」に規定する附属明細書「事業報告書の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。